

常盤塾

日時：2015年1月9日（土）15：00～18：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 東野祐香里（前半）、三藤剛照（後半）

メンバー：常磐さん

次回に向けての連絡

（1）1分間スピーチ

- 丸山さん：一橋大学の教授
提案：岩井さん著作『経済学の宇宙』
- 常盤さん：宇宙関連…由比さん、ドッキングの時
コウノトリはものであるにもかかわらず手のひらを通して人を感じた
…ものに心がある
- 出井さん：STAP細胞 科学論文の2/3は再現性無し…早く発表したい etc
ロボット…人間では再現できないものも再現できる
→毎回同じように再現できることが大切なのは？
- 古城さん：自動車の自動運転…なかなか実現は難しい
Cf. トロッコ問題…人を避けようとして人を殺してしまう
速度の問題
- 大下さん：ネガティブなことは言わないというのはいかかなものか
後世に伝えることも大切
- 昌子さん：レギュレーションと世の中の必要性をどう考えるか
東芝…ガバナンス、社外取締役
- 古川さん：タブーについてもっと語り合ってもよいのでは
創価学会のこき下ろしなど、笑い飛ばす社会であってもよいのでは
- 今田さん：自分で加工したり作ったりすると愛着がわく
- 松山さん：紅白歌合戦を見終わったら初詣に向かう
朝日新聞連載 音楽の起源とは？
鼓動、呼吸など内的なものを忘れがち
音楽は生命のリズムのレファレンス、音楽は生命のメトロノーム
常盤さん：アニミズム 生命を結び付ける
- 片平さん：拍子…毬拍子 今を刻む日本の拍子
Nature の責任を問わないのはおかしい
常盤さん：Nature も社外取締役のようなもの、出てきたものの判断のみ

- 松永さん：外からものを見るのではなく、中からどう見えるかに取り組む
サイエンスはますます面白くなる
知らない、感覚がない…わかったふりをせずに次の世代に受け渡す
- 安梅さん：エンパーネットするものの名づけ ピッピ
言葉の違い

(2) 常盤さんのお話

イノベーションとは…成長の新たなエンジン
企業が伸びていくためのエンジン
テクノロジーだけでは進歩しない
回路の交差するところの下に立つ
リベラルアーツ…心を豊かにしてくれる

河合さん 頭の中の分け方
中心統合型…中心を意識して行動
融通無碍
表面的なことをつなぐため
2つの焦点が人の心の中にある
もっと普遍的に人を理解する、何が本質になるのか

スーパートップセミナー
きえらプロフェッサー
過剰な賞賛、攻撃をつなげる
記事の意味
陰と陽の変化
テニスボール
1つのものに包含して初めて価値が発揮できる

片平さん：2つの相対するもの、質が違うもの

松永さん：岡潔さん
サイエンスコミュニケーターを見る前に読む
同じことを考えている者同士は響くものがある

常盤さん：何もしないと「わからない」で終わる
言葉ではわかったことを伝えきれない

古城さん：禅…本物の一休さんは不信心
言葉で納得するよりも行動

(3) 鈴木大拙『禅と日本文化』（発表者：古城さん）

(発表資料参照)

- 片平さん：言ってることは非常にピンとくるけど、世代によって違うのかもしれない。「何の役に立つのか」といった質問が多い。
- 古城さん：自転車の乗り方もなんで乗れるのかわからなくいけど修行することが先にあって理論は後からついてきているもの。
- 常盤さん：放送大学のテキストであったが、科学は説明値で有野自転車の例は体験値であって説明できないものである。
- 松永さん：禅の役割を科学の見方に当てはめるとわからなくなってしまう。
- 今田さん：禅には教科書はないし勉強することもない。答えが出ないことを考え続けるといった行為である。そして自分の中にあるものだけにフォーカスする。
- 安梅さん：心の余裕がなくなったところが病なので、それを感じるのには難しい。
- 松永さん：禅は感覚を細くしていく感じ、コンピューターとかはあれこれのものを見ていくけど。
- 安梅さん：カメルーンのジャングルの話し。禅というものは原始的な状態に帰ることに近いのではないか。
- 古城さん：職人がまさに暗黙知のところがあって、同様に説明されることがない。
- 丸山さん：中国で残らなくて日本で残っている理由。思想の弾圧とかがなかったため昔の中国のものやアメリカのものが日本には残っている。
- 常盤さん：サクラがシンボルになったのは明治の軍国主義で利用してできた。
- 片平さん：日本が特異なのは四季があるのではなく四季を認識していることが大きい。料理の名前も季節を愛でるなど。
- 常盤さん：日本人のほうがきめ細かいという発想でやってしまうと、そこに優劣が生まれてしまうのでよろしくない。それぞれが何を感じているのかということが大事。例えばイヌイットは白色で世界を認識していて、一つの色にも十何種類も名前がある。
- 松山さん：日本人の起源を探すといった番組で、バイカル湖辺りから来たのではないかと行った話しがあった。そこでは土地に神様がいてそれを奉る文化があった。それが日本に入ってきているのではないか。